

Truth

[トゥルース]

富山のスポーツの
真実を伝える

2015 春号
アスポとやま
¥0 Takefree

VOL. 1 富山初のスポーツマガジン

リオ五輪へ

レスリング

登坂絵莉

重量挙げ

村上英士朗

マラソン

野尻あずさ

ほおぼる幸せ。

ほおぼる幸せ。

富山米



Truth

[トールース]

VOL.1 富山のスポーツの真実を伝える
春号

Eri Tosaka
Eijiro Murakami

Azusa Nojiri

TOYAMA
SPORTS
THREE TEAM

TOYAMA
SPORTS
MESSAGE BOARD

SPECIAL FEATURES

- 02 レスリング
登坂絵莉
女王・吉田に憧れ「リオ五輪でメダルを」
- 04 重量挙げ
村上英士朗
「試合は力自慢、腕自慢を楽しむ感覚」
- 06 マラソン
野尻あずさ
自分で決めた道 まっすぐに

富山のプロチーム3球団のリアル情報

- 08 野球
富山GRNサンダーバース
新主将 大上戸2015シーズンにかける
新加入選手の意気込みは？/選手の色紙プレゼント
- 10 サッカー
カターレ富山
降格の屈辱から2015シーズンは変革の時
J3ってどんなリーグ？/催しやサービス・ホーム戦情報
- 12 バasketボール
富山グラウジーズ
プレーオフ直前企画 城宝の理由
勝利の女神グラガール特集

- 14 **富山のスポーツ伝言板**
富山の野球少年を変えるホットスポットはココ！
西村がJ1仙台へ……
※皆様からの耳寄り情報お待ちしております！

お得で便利なETCカード！！
お申し込みは当組合まで

(協)富山県ハイウェイサービスセンター

理事長 朝日 重剛
〒930-0083 富山県富山市総曲輪2-1-3
TEL (076)493-6717 FAX(076)493-6718



NPO法人「Tスポとやま」設立記念講演会
米大リーグ・アトランタブレーブス国際スカウト駐日担当



大屋 博行氏が 7月4日、富山市内で講演

富山県生涯スポーツ協議会とNPO法人Tスポとやまは7月4日、当法人の設立を記念して米大リーグ・アトランタブレーブス国際スカウト駐日担当の大屋博行氏による講演会を開催します。

おおや・ひろゆき

1965年10月生まれ49歳。
大阪府出身。国内の高校を
休学後に渡米し、アリゾナ州
スコッツデール市立コロナ
ド高校で投手としてプレー。
同高校卒業後に帰国し、
NPB阪神練習生、歯科技工
士などを経て98年に米大
リーグ、アリゾナ・ダイヤモンド
バックスの国際スカウト
駐日担当に。2000年からア
トランタブレーブスの国際
スカウト駐日担当として日
本国内の選手発掘に励む。

テーマは「スカウトは預言者になれ
～富山から世界へ！人を、選手を育てよう～」

- ・7月4日(土) 18:00～20:00(受付17:30)
- ・参加は無料
- ・富山市の県総合体育センター会議室にて
- ・主催 富山県生涯スポーツ協議会、NPO法人「Tスポとやま」
- ・特別協賛 (株)ニッセイテクニカ

お問い合わせ

富山県生涯スポーツ協議会事務局 〒930-0887 富山市五福5区1942 アオイススポーツハウス内
TEL:076-431-2088 FAX:076-431-2105 Email:life-spo@pf.ctt.ne.jp

この春は、こだわりファミマの挽きたてコーヒーで至福のひと時を！！



※写真はイメージです。

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

ファミリーマート 検索

問合せ先/ファミリーマート富山営業所 Tel.076-422-9575

アイスコーヒー◎サイズ
1杯100円(税込)で好評販売中!!

Truth AR

AR動画 <http://ns-clouadar.com/app/>
CLOUDAR(クラウド)で動画をご覧下さい。
右のQRコードから無料アプリ「CLOUDAR」をダウンロードしてください。



Truth AR のロゴのある写真にかざし、画面をタップすると読み込みが始まります。
推奨環境:iOS/Android4.0以降の通信端末。パケット通信料はお客様負担となります。

文・写真 若林 朋子
text&photo by Tomoko Wakabayashi
映像 金森 正晃
Movie by Masaaki Kanamori

Eri Toraka

「リオ五輪で金メダル」



至学館大のレスリング場へ向かう登坂



後輩の土性の成長をたたえる



至学館大のレスリング場。壁には多くの新聞記事や写真、訓示などが掲示されている

とうさか・えり
1993年8月30日生まれ、21歳。
高岡市出身、南星中・至学館高(愛知)卒、現至学館大。152センチ、48キロ。全国高校女子選手権で2連覇。世界選手権は2012年に準優勝、13、14年と連覇を果たした。13年ユニバーシアード、14年アジア大会で優勝。

「絶対的女王」の吉田とはどんなアスリートなのか？ 登坂に聞いてみた。
「別格の選手。人間的に大きい。機嫌の良し悪しで後輩を叱ることがない。周りに気をつかわせない。不満を言わない。選手としてはもちろん、人として尊敬できる。考え方に芯がある。負けない沙保里さんでいてほしい。同じ練習をこなしても密度が濃い。五輪で3度も金メダルを獲っているのになぜあそこまで自分を追い込めるのか……」

敬愛し、驚嘆する思いを込めて吉田の人物像や練習に取り組む姿勢についていろいろと語った後、「勝ち続けることは、孤独なんじゃないかと思う」と女王の胸中を推し量った。

登坂が在籍する至学館大は、愛知県大府市内の静かな住宅街にある。都内で始まる全日本合宿を翌日に控えた2月中旬、同大のレスリング場を訪ねた。あいにく、登坂は左ひじの故障により、ウエイトトレーニング中心の別メニューをこなしていた。「わざわざ富山から来てくださったのにスママセン。(吉田)沙保里さんと練習するところ、見てほしいかったです。すっごく残念」

愛らしい笑みを浮かべてベコリと頭を下げられると、初対面の人でもすぐ「ファン」になってしまった。一方で、たくましい二の腕に目が釘付けとなった。練習前には仲間と談笑しながらも、休むことなく腹筋を鍛えている。「一瞬もむだにしない」という気迫が感じられた。

父は国体チャンピオン

1993年8月30日生まれの21歳。父の修さんは高岡一高時代、国体チャンピオンになったことがある。登坂は父の勧めにより9歳から高岡ジュニア教室でレスリングを始め、南星中時代は全国中学選手権で優勝。強豪の至学館高(愛知)に進み、全国高校女子選手権で2連覇を果たした。幾多の名選手を育ててきた栄和人監督の指導の下、世界選手権2連覇を果たす。今日までの歩みは着実そのものだ。

登坂の武器は何か？ 何より心が強い。ウオーミングアップとして球技をする時でも勝負にこだわりの、勉強も「負けたくない」と全力を注ぐ。「世界チャンピオンはまだ無理」という声を聞いた時には、反発心をあらわにした。当然、マットの上では闘争心をむき出しにする。かなり荒っぽい表現であると断ったうえで、「殺してやるというくらい気持ちで相手に向かう」と勝負へのあくなき執念を明かした。

一方で、「気配りの人」でもある。取材交渉ではほかのクルーが入ったり、練習時間が変更になったり、降雪で我々が移動できなくなったりして日程が二転三転した。その間、登坂による調整や段取りは見事のひとつに尽きる。メールの返信や電話の対応は素早く、的確だった。細心の気配りは、レスリングにも生かされている。

安易に妥協はしない

登坂は世界選手権で頂点に立った後、自身も「女王の孤独」をあえて求めるようになった。吉田から「女王なんだから自分が勝つための練習だけをすればいい」と助言を受けたことも一因だ。自分で決めた課題を克服するため、安易に妥協しない。だからこそ、この日も「談笑しながら腹筋運動をし、栄監督に促されても練習をなかなか切り上げようとしなかった。」

吉田の「金メダリストの帝王学」を引き継ぎ、実践しているのが登坂といえる。練習場に到着した吉田はまず登坂に声を掛けた。二言三言、言葉を送ると、登坂が嬉しそうに反応している。「かわいられているなあ……」と映る。栄監督によると、「祝勝の場に招かれた時、いつも登坂と一緒にいる。吉田はそれを喜んでるよ」とのこと。一番弟子と認められているようだ。

「あの、吉田沙保里選手が目を開ける後輩は、富山県高岡市出身の登坂なんですよ！」と声を大にして言いたい。富山のファンとしては、かなりうれい事実である。

登坂を目標とする選手もいる。1学年下の土性沙羅は、2013年世界選手権の67キロ級で銅メダル、14年は69キロ級で銀メダルを獲得した。成長著しい土性の肩をたたいて「すごい後輩」と紹介してくれた。また、帰省すれば高岡ジュニアの練習に顔を出し、小学生にアドバイスを送る。五輪で3連覇を果たした吉田の言葉は、間接的に富山の選手にも伝わっている。富山県人としては、これもまたうれしい。

「沙保里さんと練習する姿、見てほしかったです。また、来てください。リオ五輪に出て必ず金メダルを獲り、応援してくれる富山の人に恩返ししたい」取材の最後まで心配りと負けん気を見せてくれた。

富山県人にとっては、2016年リオ五輪が待ち遠しい。登坂の輝く笑顔と金メダルが目に見えれば、栄光への道をずっと見守っていききたい。

富山県人で今、最も五輪の金メダルに近い選手はだれか？

レスリング女子48キロ級の登坂絵莉(高岡市出身、至学館大)だろう。世界選手権で2013年、14年と優勝し、同年のアジア大会も制した。吉田沙保里(女子53キロ級/ALSOK)に胸を借り、日々鍛錬に励んでいる。まずは来年のリオ五輪、そして2020年東京五輪まで「Truth」は登坂のドラマを追う。



負けん気と観察力が「技あり」のレスリングにつながる

課題はスタミナ

栄監督によると「登坂の強みは腕さばき。相手の力を出させない、まともに受けない。すかしたり、いなしたりするタイミングが絶妙」とのこと。相手を観察し、対処する能力は抜群だ。スルスルと相手の懐に入り、スムーズな動きでいつの間にか優位な体勢に持ち込んでいる。ひとりでいえば「センスがいい」。

心技体のうち「心・技」はほぼ完璧である。栄監督があえて課題に挙げるのは「体」だ。「腕力や瞬発力は申し分ないので、せっかくなのうまさを生かす体力、スタミナを磨く努力を」。より高いレベルを求める。吉田ら世界トップクラスの選手を育て、また五輪で確実に金メダルを獲らせてきたからこそ、登坂への要求は尽きない。「ラスト15秒、10秒でもタックルで得点できる選手になれ。100%を求めているんじゃない。吉田のように200%を目指せ！」

栄監督の言葉に耳を傾けていると突然、練習場にガシャーンと大きな音が響いた。吉田の激しいタックルを受けた選手が入口の格子戸に激突し、戸が外れてしまった。栄監督と数人の選手が戸を元に戻す間、2選手はわき目もふらず練習を続けている。吉田の研ぎ澄まされた集中力と技の切れ味は圧巻だ。タックルは絶え間なく繰り返される。登坂はその姿

登坂絵莉

吉田沙保里の教えを受ける世界女王

レスリング女子48キロ級

レスリング以外のこと、聞いてみました！

- Q: 好物は何ですか？
A: 魚の昆布じめと牛タン。甘いものも大好き！ 伏木の万葉埠頭で父と一緒に釣ったイカを昆布じめにしたら、とてもおいしかったです。
- Q: 吉田選手以外で活躍や言動が気になるアスリートは？ ほかのスポーツに興味はありますか？
A: 女子バレーボールの木村沙織さん、体操の内村航平さん、サッカーの本田圭佑さんですね。なでしこジャパンも気になるな～。野球は巨人ファンだけど、愛知県に住んでいるので中日も応援しています。
- Q: レスリング以外のスポーツは何が得意ですか？
A: 球技は全般的に得意です。サッカーとか。ソフトテニスも好きですよ。小学生の時、ソフトテニスをやったら、ボールが飛び過ぎて困りました～。
- Q: 休みの日は何をしますか？
A: カラオケに行ったり、ショッピングをしたり、音楽を聴いたり。西野カナさんのファンですよ～。でも、ひまさえあれば寝ているか食べているかですね。





佐藤は愛知県出身で、2000年とやま国体の強化選手として来県し、01年に引退した後は指導者の道歩んでいる

文・写真 若林 朋子
text&photo by Tomoko Wakabayashi

I am working hard at practicing everyday in order to become strong.



村上は脚が短い。構える時は不利だが、挙止の安定感では利点となる

ウエイトリフティング(重量挙げ)は、バーベルを両手で頭上に持ち上げ、重さを競うスポーツである。単調に見えるが、その動きは奥深い。リオ五輪、東京五輪を目指す村上英士朗(滑川高OB、日大)と恩師の佐藤公治滑川高監督に、ウエイトリフティングの面白さや、難しさについて聞いてみた。

「地道に1人」という思いから

村上選手は富山市の興南中出身で、3年時にはすでに日本中学記録を樹立しています。競技との出会いや、ほかのスポーツもいろいろ挑戦していた中で、なぜウエイトリフティングに絞って究めようと思ったのかなどについて教えてください。

チベーションはともシンプルです。「誰よりも強くなるぞ」という思いがあり、試合では力自慢、腕自慢を楽しむ感覚です。

「ウエイトリフティングはけん玉」

「どこで、すごい太ももですね。日々の練習でどこをどう鍛えるのですか? また、フォームの良さ悪しなどは素人目にはなかなか分かりにくい部分です。」

村上 太ももの周囲は87センチ、上腕は50センチあります。腕でバーベルを挙げていると思われるかもしれませんが、床を足で押す瞬発力がパワーの源です。

佐藤 脚力でバーベルを跳ね上げ、その下に体をすべり込ませているのです。分かりにくいですが、そう、「けん玉」を頭に思い描いてください。けん玉の本体が体で、ひもは腕、球はバーベルです。物理学の理論でウエイトリフティングを考えてください。右手側の真横から見るとバーベルはアルファベットの「S」の字を描いているのが理想のフォームとされます。バーベルを動かすのではなく、バーベルに対して体を動かしています。

「ウエイトリフティングはけん玉」。面白いですね。佐藤 「けん玉論」は日本ウエイトリフティング協会の教本にも書かれており、全国の指導者が同じ理論を共有しながら選手育成にあたっています。重いバーベルを持ち上げるために必要なのは瞬発力と柔軟性です。村上はいずれも優れていますね。

ライバルと競い続けることが大切

「リオ五輪、そして東京五輪と期待は膨らみます。出場までの道のりはどうなっているのでしょうか」

村上英士朗

ウエイトリフティング

「強くなるために練習する」

村上 柔道、空手、レスリングなど格闘技の経験があり、そのトレーニングとしてバーベルに触れる機会がありました。柔道は富山市の大会で優勝するなどしていたけれど、興味を持って続けたいと思ったのはトレーニングの方。走るのが苦手、球技や団体スポーツは嫌い。地道に1人で数字と向き合うスポーツがいいという思いからウエイトリフティングが合っていると感じました。

父が経営する介護関係の事業所の職員に県の国体チームで少年の強化を担当するコーチがおり、その方からウエイトリフティングの手ほどきを受けました。また、祖父がパワーリフティングやボディビル選手の選手だったので、高度な筋力トレーニングをする意味や、美しい体をつくる面白さに興味を抱いたように思います。

試合では力自慢、腕自慢を楽しむ

村上選手のように、早い段階からウエイトリフティングの魅力に気づくケースは少ないとお見受けします。失礼ながら、「球技などに比べて地味で、面白みに欠ける」と感じる児童生徒もいるかもしれません。

佐藤 中学生を指導するときは、体づくり運動やウエイトリフティングの基本的な技術練習を中心にを行います。基本的な技術を習得していく中で、昨日まで持ち上げることができなかったものが次の日に持ち上げることができ、このように努力した結果が数字に表れるので、コッコツと何かを成し遂げることが学ぶにはいいスポーツです。ただ、1人で続けるにはあまりにも孤独なので、高校生などに対しては「個人スポーツではあるが1人では練習できない。互いに声を掛け合い教え合う。ある意味団体スポーツでもある」ということを実感できるように配慮しています。

村上 小さい子が競技の魅力を理解するのは難しいかもしれませんね。自分の場合、競技に対するモチベーションは、選考の過程や出場資格などを教えてください。

村上 現在105キロ超級の日本人選手のレベルは決して高いとはいえません。したがって世界選手権などの国際舞台でいい成績を残して日本の出場枠を確保し、さらには国内選考会でも優勝しなければならぬのです。

高校時代からいつも全国大会の優勝を争ってきた知念光亮(沖縄国際大)という同じ年齢のライバルがいます。ここまでの成績はほぼ五分五分です。

佐藤 知念が静、村上は動ですね。本人、指導者とも仲は良いのです。でも試合の時は最初だけ挨拶して、あとは一定の距離を保ちます。スタートの重量はだいたい2人とも同じ。その後、5キロぐらいの幅で重量を上げ、読み合い、かけひきが続きます。

現状では同一の階級から日本人2人が五輪に出場するのは難しいでしょう。現在の激しいライバル関係を続けながらレベルアップし、突出して2人が強くなれば一緒に五輪出場することは可能かもしれません。競い合い続けることが大切です。

weight lifting
Eijiro Murakami

むらかみ えいしろう
1995年8月8日生まれ、19歳。
富山市出身、興南中・滑川高卒、現日大。175センチ、108キロ。自己ベストはスナッチ170キロ、クリーン&ジャーク206キロ、トータル376キロ(すべて日本ジュニア新記録)。2013、14年に世界ジュニア選手権出場、14年は4位。



練習より試合で力を発揮できるタイプ。逆のタイプの選手もいる



自分で決めた道まっすぐに

故郷からリオ五輪を目指す。孤高の挑戦に多くの人々が心を寄せている。

陸上に転じて7度目の冬はつらいものになった。8月に北京である世界陸上選手権の女子マラソン代表を目指していた。勝負をかけた昨年11月の横浜国際女子で5位に終わり、急きょ出場した大阪国際女子は16位。そして東京で466位に沈んだ。自己ベストの2時間24分57秒から遅れること約1時間。歓声を上げる市民ランナーに交じりフィニッシュゲートをつくった。

東京が苦しいレースになるのは分かっていた。大阪国際女子の前からあった足の痛みが悪化し、インフルエンザにかかって練習ができない時期もあった。コンディション不良は明らかだったが、迷った末に出場を決めた。「私に関わってくれている人がたくさんいる。走ろうと思った」。プロランナーとして、スポンサーや大会関係者、応援してくれる人々に走りて応えたかった。厳しい状況に自分がどれだけ対応できるのか試してみたいとも考えたという。意義を見だして決断した。

自分で決めたからには最後まで走り抜くのが流儀だ。都庁前のスタートを見送ったマネージャー小川耕平のもとに大会関係者から連絡が入る。すぐに遅れ出したことが伝えられ、「途中棄権させたほうがよいのではないかと尋ねられた。小川は「どんな状態になっても最後まで走ってこよう」と答えていた。

ゴールしたころにはプレスルームのある東京ビッグサイトで入賞者らの会見が始まっていた。ミックスポーンで彼女を呼び止める記者はほかにいなかった。

「今日のベストは尽くしました。途中でやめる選択肢はありましたが、『スタートしたからにはゴールを目指す』と。エントリーした時点でそういう気持ちでした。(このような結果に)賛否があるのは理解しています。でも、やり抜くことにも意味があると思う。この先、あの経験がこの成績につながりません。と言えないようにできたらよい。人生に無駄なことはないと言いますから」

08年にスキーから転身

五輪代表に手が届きかけたクロスカントリースキーから陸上に転身したのが2008年。第一生命でマラソンランナーとして頭角を現し、12年の大阪国際女子で3位に。同年に独立して故郷の富山に拠点を移してから13年の横浜国際女子2位、昨年の北海道優勝など実績を重ねてきた。だが、マラソン強化を目指して昨年発足したナショナルチームのメンバーには選ばれていない。来年のリオデジャネイロ五輪を目指すうえで、世界陸上に出場してナショナルチームに加わることがこの冬の目標だった。

上り調子で迎えた横浜国際女子で日本選手3位に敗れ、東京での再挑戦を計画した。普段はひとりで練習しており、男子の川内優輝のように実戦で鍛える方法を試み、レース間隔を詰めて大阪国際女子にも出場した。しかし、思い描いたようには進まなかった。五輪代表をつかむには次の冬の選考レースで好成績を挙げるしかない。

姿勢、人柄、才能に魅せられて

現在、野尻のように実業団チームに所属せずにな線で戦う女性ランナーはほぼ皆無だ。想いに従い独自の道を歩んでいる。そんな彼女を応援する人が多くいる。

シドニー五輪金メダリストの高橋尚子もそのひとり。東京マラソンの事前記者会見で声を掛け、「野尻はあえて難しい道を選んでいるように感じる。高橋さんはどう思うか」と尋ねた。「私はそうは思いません。気持ちがよく分かる。新しいことにチャレンジすること、殻を破ることに面白さがある。走ることで、練習すること自体が第一に苦しいことじゃないですか。それでも多くの人が達成感を見いだしてやっています。それと同じだと思つて答えた。

「あずさには貫いてもらいたいと思つている。彼女がやり切ることで後に続く者がでてくる。『走ることは生きること』であるという彼女のメッセージに救われている人が多くいる。大きなレースで結果を残すことでそのメッセージがより強いものになる。私は期待しています」

埼玉県越生町の眼科医である石川克也は昨年10月、日本医師ジョガーズ連盟の有志で野尻の後援会を立ち上げた。同連盟は医師のランニング愛好家をつくり、走りながら大会の医療支援を行うランニングドクターの養成もしている。石川が2012年の長野マラソンに参加した時、沿道にいた妻の近くに知人を応援する野尻がおり言葉を交わしたのが交流のきっかけだった。「石川眼科」と入った上着を見た彼女が「私は富山から来ました。石川県の方ですか」と話し掛けたという。

「私と野尻さんの知人が偶然にも同じ時間帯にゴールしたので、その場で話すことができました。ダメもとで『地元の大会に来てください』とお願ひしたら、小さな大会にもかかわらず快く応じてくれました」と振り返る。同連盟が昨年の黒部名水マラソンに協力した際にほかのメンバーも彼女と接する機会があり、「後援会をつくって応援しよう」との声が上がったそう。

「野尻さんの屈託のなさ、競技に対する真摯な姿勢に惹かれて、五輪を目指す彼女をみんなが応援したいと思つた。我々ができるのはわずかなことですが、これからも応援していこうと話しています」

富山高専教官の金子龍一は野尻が中学・高校生だったころ富山陸上競技協会で強化部長を務めていた。彼女は上滝中学のスキー部に所属し陸上の大会にも参加していた。ウォーミングアップを始める時、脱いだジャージをきちんとたたむ姿が印象に残っているという。

走りの軽さと持久力に天性を感じ、「マラソンなら日の丸をつける選手になるかもしれない」と思つた。しかし、彼女は雄山高校に進学してスキーに専念する。金子はそれでも諦め切れず、「二〇〇〇年とやま国体で走らせてみたいと直前まで思っていた」と明かす。8年後、スキーで不振に陥つた野尻を陸上競技へと導いた。彼女の雄山高校、日本大学スキー部の後輩にあたりアルペンで五輪代表を目指していた花岡萌が金子のもとでトレーニングをしており、連れられて訪ねてきたという。以前の印象

と変わらない走り心動かされた。面識はなかったが第一生命の山下佐知子監督に引き合わせたいと考え、つてを探して実現させた。

金子は野尻が遠回しなとは考えていない。彼女や花岡の競技に打ち込む姿勢やバイタリティーに接し、「厳しい自然の中で、自主性を重んじて練習するスキー競技でこそあれだけのメンタルが身に付いたのではないかと」思う。「彼女はスキーを選んだよかつた。長い月日をかけ、生きたまを刻むように自分を鍛えて挑んでいる。陸上競技に携わる私たちにはあのようなハートを育てることができているのだろうか」と語った。

できる限り最後まで

野尻あずさのこの冬の挑戦は終わった。少しの休息の後、リオ五輪出場をかけた次の勝負に備えてまた走り出す。

「海外の選手が『神様のお許しがもらえたならば』という表現をよく口にします。ある時に道はおのずと開けるものなのだと思う。私も、できる範囲でできることをやっていくしかない。五輪を目指す自分と決めた。だから最後まであきらめずにやる」

(敬称略)

のじり・あずさ
1982年6月6日生まれ、32歳。富山市出身。上滝中・雄山高・日大卒。156センチ、43キロ。クロスカントリースキーでユニバーシアード、W杯出場。2011年世界陸上選手権マラソン代表。自己ベストは2時間24分57秒(12年大阪国際女子)。ヒラツカ・リース(東京)の支援を受けプロランナーとして活動。

今年こそは 富山に恩返し

2015年BCリーグ開幕
富山GRNサンダーバース
大上戸健斗内野手

聞き手・文 土田 由香里
interviewer&text by Yukari Tsuchida
写真 金森 正晃
photo by Masaaki Kanamori

プロ野球独立リーグ・ルートインBCリーグの2014シーズンの富山GRNサンダーバースは、6年ぶりに前期優勝するも、北陸地区チャンピオンシップで最終戦までつれる接戦の末、石川ミリオンスターズに惜しくも敗退。涙をのんだ。それから約半年。15年4月、新たに2球団が加わり、新シーズンが開幕した。富山の主力であり、笑顔の奥に熱い思いを秘める大上戸健斗内野手（黒部市出身）に今季の意気込みを聞いた。



富山愛を野球への情熱に変えて戦う
富山GRNサンダーバースの大上戸健斗内野手

辛いけど、楽しい

「オフは自己管理が問われる大事な期間。14年10月から3月のキャンプインまでの過ごし方によって、15年のシーズンにいいスタートが切れるかどうかが決まるといっている。」

「オフはアルバイトをしながら自主トレーニングの毎日。筋力トレーニングを中心に取り組んだ。生まれてからの身体特性を4種類に分けて解明した。4スタンス理論」を学び、自分の体の悪い癖を修正することを心掛けた。チームメイトとの合同練習では、野原祐也コーチ野手兼任と同じメニューをこなした。股関節の周りなど、一人だけでこなすトレーニングとは違った部分を鍛えられた。辛いけど、楽しい。野原さんはチームでも別格。打撃、走塁は見ているだけで勉強になる。近づくにはまず体を強くしないとダメだ。」

もつと結果を

「1年目はレギュラーを目指して、ただがむしゃらに取り組んだ。マークされることもなかったので打ちやすいと思ったこともあった。しかし2年目は、1年目と違い、苦手なコースを中心に攻められ、それに対応できなかった。チームは6年ぶりに前期優勝できたが、『自分があの時打っていたら勝つことができた』と思う試合がいくつもある。主軸を任されている以上、もつと結果を残さなければならぬと感じた。」

次は自分がプロへ

「独立リーグの選手はNPBを目指している。もちろん大上戸選手も。そして、チームの優勝も明確な目標だ。NPB入りと優勝の2つを叶えるために、自分に必要なものは何か。」

「アペレージを残すことが自分の一番の強み。だからこそ、首位打者を獲らなければならないと思っ

ている。カラパイオ選手（群馬ダイヤモンドベガサス）は、橋爪捕手は大学を休学してBCに挑戦するなどチャレンジ精神旺盛だ。「大事な場面で打てるようになりたい。一番若いので頑張る。地域の皆さんに愛される選手を目指す」と意欲的である。

小柳投手は「マウンド、度胸が光る実戦派」という評価。「投手としてチームに貢献できるように頑張る。富山の皆さんと頑張っていきたい。ヤナギと呼んでほしい」と自己PRしている。

上田外野手は貴重な右打者で、「肩が強い点をアピールしたい。外野手としてチームに貢献できるような頑張る。上ポニョと呼んでほしい」と話している。

橋本捕手は打撃にも期待が集まる。「しようごま（中田翔選手を意識して）しようと呼んでほしい。ホームラン王を獲れるよう頑張る」と早くもタイトル獲得を目標に掲げる。

移籍組は即戦力としての期待が集まる。板谷投手は力強い投球が持ち味だ。「野球を楽しく、成績にこだわって1年間頑張りたい。カズ、カズサと呼んで応援してほしい。ピンク色が好き」と話している。大久保は俊足・強肩の外野手だ。「BCリーグでのキャリアは長いので優勝できるような頑張りたい。くぼ



闘志を燃やす新加入の6選手

大上戸選手のサイン色紙を 2名様にプレゼント!

今回インタビューした、大上戸健斗選手のサイン色紙を2名様にプレゼントします。今年は主将として、チームをまとめる大上戸選手の活躍に期待しましょう!

ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、「Truth」へのご意見・ご感想を記入の上、メールにてご応募ください(個人情報につきましては、商品の発送にのみ使用いたします)。



E-mail: tspo.toyama@gmail.com
締め切りは5月末日。なお、発表は商品の発送をもって替えさせていただきます。

<http://www.t-thunderbirds.jp/>

公式戦の日程や各種イベントは球団のホームページで確認を。

た、くぼゆうと呼んでほしい」と話す。吉岡雄二監督は新たな布陣でどんな野球を目指しているのか。「昨年は悔しい思いをした。チームの平均年齢がかなり若返り、伸びしろの大きいチームとなった。選手は失敗を恐れず、試合の中で自分の持ち味を出せるよう思い切ったプレーをしてほしい」とのこと。若手中心のチームなので、キャッチフレーズに掲げた「昇（のぼる）の通り、チームも選手も上昇気流に乗りたいたい」ところだ。

ルートインBCリーグは今年から福島ホープス（福島県）、武蔵ヒートベアーズ（埼玉県）が新たに加盟し8球団となる。地区の構成は富山、石川、福井、信濃（ADVANCE-West（西地区））、福島、武蔵、新潟、群馬による「FUTURE-East（東地区）」の4チームずつに分かれて戦う。



主将として攻守でチームを引っ張る意気込みは十分だ

「遊学館高（石川）の3年時にはドラフト候補に挙がるも指名されなかった大上戸選手。だからこそ、NPBへの思いは強い。高校、大学と県外に進学。そして現在は地元・富山で野球に打ち込んでいる。」

やっぱり地元で

「高校は、より高いレベルを求めて遊学館高校を選んだ。遊学館の試合をテレビで見て、行きたいと思ったからだ。野球漬けの毎日。大学は大東文化大学へ。7年間を県外で過ごし、野球を続けたいという気持ちに加えて、「やっぱり地元で」との思いがあった。当時（2013年）の進藤達哉監督（現横浜DeNAベイスターズヘッドコーチ）から声をかけていただいた時は、すぐに行きます」と言った。地元でプレーできるのは本当に嬉しい。今、野球に集中できる環境に恵まれている。チームを引っ張る存在でありたいし、初心を忘れず、今年こそはチームの優勝とNPB入りをし、地元・富山県の皆さんに恩返しをしないと決めている。」

だいじょうご・けんた / 1990年12月3日生、黒部市出身。175センチ、70キロ。右投左打。遊学館高、大東文化大を経て2013年に富山サンダーバースへ入団。

各種手羽先 390円～

牛ト口味贈ホルモン 590円

串揚げ 80円～

手羽先 × 焼肉 × 串揚げ

手羽先 焼肉 てばき

富山市新富町 1-1-9 (1F・2F)

【営業時間】 日～木曜 17:00～24:00
金・土・祝前日 17:00～翌1:00

076-439-1129

富山駅 徒歩1分

90分 飲み放題付! 焼肉手羽先宴会コース 4,000円

50名まで宴会OK! コースは2名様からご用意できます。

国産ウイスキー樽を使った家。

常設展示場

営業時間 9:00～18:00 (水曜定休)

※見学希望の方は事前にトナミオイスまでお問合せください。

Before Re+HOME 天然木を活かしたヤマヒデのリフォーム

After

本社 〒932-0212 富山県南砺市山斐188 TEL (0763) 82-0428 FAX (0763) 82-6670 トナミオイス 〒939-1362 富山県砺波市鍋島129-3 TEL (0763) 32-7077 FAX (0763) 32-7078

■ 岐阜工場 〒932-0212 富山県南砺市山斐188 TEL (0763) 32-7077 ■ 東京ショールーム 〒145-0062 東京都大田区北千代2-3-2 マルミホーム内 TEL (03) 6459-5986 ■ 秀琴木楽館 〒932-0212 富山県南砺市山斐184-2 TEL (0763) 82-5585

■ 製材工場 〒932-0212 富山県南砺市山斐188 TEL (0763) 82-0428 ■ 津川集配センター 〒932-0312 富山県砺波市津川町高橋新32-2 TEL (0763) 82-5177

http://www.yamahidehome.co.jp

ヤマヒデホーム 検索

惨敗の痛みはシーズン終了後も続いた。J2最下位とJ3降格は在籍した選手個々の評価にもつながり、彼らのサッカー人生を揺るがした。クラブを離れた選手たちは移籍先がなかなか見つからず、JFLより格下の地域リーグのクラブを選んだ者もいる。一方で多くの選手がカタレとの契約を更新したが、良い条件でのオファーがないためやむを得ず決断した者が少なくない。3月15日に開幕したJ3はカタレがJ2復帰を目指すと同時に、彼らがプロ選手として再びはじかれるかどうかをかけた戦いでもある。

トップチームの指導スタッフは一新され、監督に岸野靖之が就いた。鳥栖を率いてその後のJ1昇格に至る道筋をつけ、横浜FCでも監督を務めた。熱血漢であり、走力を鍛え上げてファイティングスピリットあふれるチームを育てる手腕がある。鳥栖時代からの参謀である芝田貴臣をフィジカルコーチに招へいし、やはり走力強化から着手した。これまでのカタレはボールを用いた技術練習を通じて体力も向上させる方法をとってきたが、岸野のアプローチは違った。ランニングを中心とするハードなトレーニングを課して体力面を集中的に引き上げる方法だ。その過酷さは選手たちの予想を上回り、苦痛に耐えかねてメニュー途中で思わず音を上げるシーンが何度もあった。



カタレ富山のJリーグ7年目が開幕した。昨季J2最下位に沈み、J3に降格した屈辱を晴らせるか。

文・写真 赤壁 逸朗 text&photo by Itsuro Akakabe

猛練習に食らいつく

岸野らスタッフは自分たちを「再建屋」と捉えている。クラブから託された「1年でJ2復帰という任務を達成するために遠慮はない。だからお前たちはJ3に落ちたんだ」。選手の反骨心もあおりながらトレーニングに駆り立てた。

「トレーニングであっても最後まで全力で走る選手しか試合では信用できない。自分を変えようとしている者は数人いるが、まだまだ甘い。当初、こう話していた岸野だが、厳しい練習にも必死で食らいついてくる彼らをじきに認めるようになった。2月中旬の高知キャンプでは「富山の選手はまじめに一生懸命に練習するのでやりがいい」とも口にしていた。これまで培ってきたチームカラーがあり、選手にも昨季の悔しさを、プロとして生き残りをかける危機感をそれぞれ持っている。岸野イズムの浸透は早かった。キャプテンのMF森泰次郎は「監督を信じてやる。シーズンの最後に良い結果が得られるなら今きつても頑張れる」と話す。開幕直前には「練習試合で走り勝てるようになってきた」「厳しいトレーニングが自信につながっている」との声が聞こえてきた。改革の歯車が確実にまわり始めている。

変革の時

追われる立場の難しさ

2009年から6季J2で戦ってきたカタレにとってもJ2昇格は容易ではない。昨季の主力だった期限付き移籍の選手たちが去って戦力は低下している。前評判の高い昨季2位の長野や同3位の町田と競うには、期待値込みで抜きさらされる森やMF田中寛己、DF内田錬平、FW三上陽輔ら若手の成長が条件になる。プロ2年目の田中は「今季の結果次第で



人生が変わる。このチャンスを生かしたい」と話した。

J2下位だったクラブが、J3では追われる立場になる。「J2で上位と対戦する時に自分たちが燃えたように、今季は相手チームを倒そうと向かって」とベテランのMF朝日大輔が警戒する。また、これまで対峙したことのない内なる敵も脅威だ。昇格するには着実に勝点を重ねる必要がある。「負けられない」「勝たなければいけない」という重圧が常にのしかかってくる。負け癖を払拭したうえで常勝軍団を目指す必要がある。岸野は「今までの常識が非常識だったと思うようになるくらい一生懸命にやる必要がある」と話す。厳しい戦いになるのは間違いなく、生まれ変わろうとする気構えが求められている。

J3ってどんなリーグ？ 働きながらプレーする選手も注目度はぐんとアップ

カタレが今季から戦うJ3は昨年からはじまった。J2クラブはプロA契約(年俸480万円以上)の選手が5人以上いなければならないが、J3は年俸を問わずプロ契約が3人以上所属すればよい。選手の大半が他に仕事をしながらプレーしているクラブもあり、発展途上のリーグといえる。試合ごとの登録選手数は16人でJ2の18人より2人少ない。逆に途中交代は2人多い5人まで可能。日本サッカー協会の若手強化策としてJ1、J2クラブの22歳以下の選手でつくるJリーグ・アンダー22選抜が参加しているのも特徴だ。

今季はJFLから昇格した山口を加えた13チームの3回戦総当たりで実施し、1位がJ2に昇格し、2位は入れ替え戦にまわる。照明設備のない試合会場も多く、カタレは7、8月に15時間開始が5試合あり、暑さによるプレッシャーへの影響が懸念される。

東北社会人リーグから飛び級でJ3に参戦して昨季5位と健闘した盛岡の山田英明広報担当は「J3への加入によって周囲の見方が大きく変わった。メディアの取材が多くなり、ホームゲームへの来場者も平均800人から1500人に増えた」と話す。一方で「まだJ3とJ2の差は大きいと思う。うちもそうだがJ3では働きながらプレーしている選手が少なくない。プロとしての意識や、長いリーグを戦う経験に差があるのではないかと考えている。」



プレスカンファレンスで一室に会したJ3各クラブの選手代表

昨季2位・長野の美濃部直彦監督は「J1とJ2の入れ替えが3枠なのに対し、J2とJ3は1.5枠。昨季は入れ替え戦で敗れて1位しか自動昇格できない難しさを感じた。(富山、町田、鳥取の)J2ライセンスを持つクラブはもちろん、ほかのクラブも昨季を経験してレベルアップしているだろう。間違いなく厳しい戦いになる」と話す。

カタレ案内板

勝たんまいけ! 食べんまいけ!
越中とやまプロジェクト

チーム強化にあてる協賛金を募集しており、1口1万円以上の応募があった人に特典として富山の特産品などを贈る。白エビやホタルイカの関連食品、県産米、呉羽梨をはじめ各種の商品を用意し、郷土の魅力を発信しながら県内外から広く協力を募る。

ジュニアドリームパス

富山県内在住の小学生が今季のホームゲームを何度でも無料で観戦できるパスを発行する。申込みは試合会場の専用ブースで受け付け、即時発行する。

<問合せ>カタレ富山
電話076-461-5200

節	対戦相手
7節	4月26日13時 vs 藤枝 (県総合)
8節	4月29日13時 vs 相模原 (県総合)
10節	5月6日13時 vs YS横浜 (県総合)
11節	5月10日13時 vs Jアンダー22選抜 (県総合)
13節	5月24日13時 vs 福島 (県総合)
15節	6月7日13時 vs YS横浜 (県総合)
17節	6月21日17時 vs Jアンダー22選抜 (県総合)
18節	6月28日17時 vs 山口 (県総合)
21節	7月19日15時 vs 相模原 (国津桃山)
23節	7月29日19時 vs 琉球 (県総合)

※時間は開始時刻。県総合は県総合運動公園陸上競技場

Internet / Design

since 1996

インターネット&デザイン シーズプランニング

930-0052 富山市五番町5-6 河上ビル4F
TEL 076-425-5195 FAX 076-425-5183

Planning Inc.

傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険

5名以上の団体・グループでご加入ください。

対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間 平成27年4月1日午前0時から平成28年3月31日午後12時まで (申込受付は平成27年3月から)

公益財団法人 **スポーツ安全協会 富山県支部** (公財) 富山県体育協会内
〒939-8252 富山市秋ヶ島183番地 富山県総合体育センター内 TEL 076-429-1230
電話受付時間: 午前9時~午後5時 (土、日、夜間を除く。)

保険の詳細な内容、資料の請求は、<http://www.sportsanzen.org>
●資料請求は、インターネットより受付けております。

でも、もしもの怪我に心強い**スポーツ安全保険**

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会賠償責任特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)・賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会賠償責任特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書により、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

<引受幹事保険会社>
東京海上日動火災保険株式会社(担当課) 公務第2部 公務第1課
TEL 03-3515-4133 (平日9:00~17:00)

<共同引受保険会社(平成27年4月予定)>
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災
東京海上日動 日新火災 富士火災 三井住友海上
平成26年12月作成 14-T-09668

1. 最後の階段

3月7日、吐息も凍る寒空の中、県西部体育センターは熱かった。富山グラウジーズは青森ワッツに76-61と圧勝し、5季連続のプレイオフ進出を決めた。1年前の雪辱を果たすための切符を手に入れた。

昨シーズンは地区1位として乗り込んだ初めての「有明」で惨敗した。チームには変化が求められていた。ナッシュHCが提唱するように、ハードに、賢く、まとめて、個人のスコアに走らず、チーム全体で勝つ。王座を勝ち取るために。

城宝は最後の高みに至る道を知っている。ドラフト外入団からMVPへと昇りつめた。最下位が当たり前だった数年前のチームと、ドラフト外だった自分。最後の階段を上るためには城宝の経験が鍵となる。

2. 城宝の理由

そのころ、城宝は乾いていた。2005～07年・大阪エヴェッサ、07～09年・東京アパッチ、09～11年・滋賀レイクスターズ。チームを渡り歩き、もまれ、力をつけてきた。選手層の厚いチームの中で、いつも自分の居場所を探していた。

「自分程度のレベルの選手なんか山ほどいる」しかし埋もれたくない。「自分が求めているのは強いチームでプレーすることなのだろうか」

2010-11年シーズン東地区の最下位に沈んだ富山グラウジーズから誘われ、城宝は決めた。「俺がグラウジーズをプレイオフの狙えるチームに変える」

チームとしてのやり方は悪くない。だが、「勝ち方を知らない」善戦するが、最後の笛が鳴るころにはなぜか負けている。もがいていた「昔の自分」と、勝てないグラウジーズを重ね合わせてチームを引っ張った。それからの躍進はご存知の通りである。

3. ゲームを支配する「見る力」

城宝のポジションはガード。広く視野を持って的確にパスを出し、ゲームをコントロールする。そのために城宝は「見る力」を磨き続けてきた。

城宝が意識している「見る力」とは、チームがどのような戦術をもっているのか、選手がどのようなプレーをしたいのかを考察すること。試合前、試合中、敵に対して、味方に対して。戦術の欠点、意識のズレ。それを見逃さず徹底的に攻撃する。対戦相手がしたい事はさせず、逆に仲間がしたい事はしやすくする。その仕事に徹することでチームの力を瞬間的に凝縮させる。そんなイメージらしい。

4. 地道な進化

城宝といえど、シュートが入らなくて悩むシーズンはある。そのため、たびたび変化を求めようになった。

今シーズン前半、城宝の3ポイント成功率は未だかつてない数字を示している。244本のシュートで入ったのは96本。3月を過ぎて約40%の成功率は驚異的だ。要因は毎年改良を重ねているシュートフォームにあるという。今シーズンのテーマは「頭の置き方」。体の中でいちばん重いとされる頭をフォームの軸に置くことで身体をしっかりと安定させ、常に同じ軌道でシュートを放つ。イメージと体幹をテーマにトレーニングを反復した。地道なトレーニングはテーマを整理して取り組んでこそ花が開くと考えている。

5. その先にあるもの

2013-14シーズン、東地区レギュラーシーズン1位通過したグラウジーズは有明の舞台に立った。しかし、あと1勝を手にする事ができず決勝に進めなかった。

城宝は徹底的にマークされた。思うようなプレーができず、勝利に導けなかった。悔しさが残った。相手の策に対応しきれなかった。チームは、自分は、どう対処すべきだったのか？雪辱を果たすため、2014-15シーズンも最高の舞台に帰らなければならない。更なる高みに立つために、進化を緩めない。

城宝は最初からMVPだったのではない。グラウジーズも最初から強いわけではなかった。時を超えて重なった「城宝」と「グラウジーズ」が有明の頂をつかむ。これこそ城宝願であり、ここにたどり着いた彼の理由なのだ。



[富山グラウジーズ公式ホームページ] <http://grouses.jp/>



城宝の理由

MVP男、城宝はなぜ富山にいるのか？
なぜ有明の頂きにこだわるのか？
城宝の理由を聞いてみた



城宝 匡史

じょうほう まさし 1982年4月24日生まれ

北海道江別市野幌出身のプロバスケットボール選手。ターキッシュ・エアラインズbjリーグ富山グラウジーズ所属。アクトサイドからの正確なシュートとアグレッシブなメイクはチームには欠かせない存在になった。ポジションはシューティングガード。身長183cm、体重83kg、足のサイズは29.5cm

文・写真 金森 正晃
text&photo by Masaaki Kanamori

会場で見つけた勝利の女神グラガール特集



ゆきさん(左)
私のイチオシメンバー！
亀崎光博選手
交流会のときにとっても紳士な対応が素敵でした。言葉にならないくらい全部大好き！
プレイオフに向けて
昨年の有明での興奮をもう一度味わいたいです。絶対！有明！絶対！優勝！

りささん(右)
私のイチオシメンバー！
藤江建典選手
試合中、一生懸命にボールを追いかけるところが好きです。
プレイオフに向けて
しっかり応援するから絶対有明に連れてって！



千智さん
私のイチオシメンバー！
城宝匡史選手
いつもチームを勝利に導いてくれるところが好き。
プレイオフに向けて
有明で優勝を決める城宝選手の3ポイントシュートが見たい！がんばってください！！

ビリヤード&ダーツ

REVOLVER

DARTS BILLIARD NEW KARAOKE

カフェ&パスタ
山の手倶楽部
となみ店・高岡店・エルパセオ店

山の手倶楽部 検索

リボルバー 富山 検索

ゆるまぬ努力

NISSEI TECHNICA
株式会社 ニッセイテクニカ <http://www.nissei-tc.com/>

スポーツ伝言板

ここでは、県内の身近なスポーツの話題を紹介していきます！
あわせて皆様からの情報提供もお待ちしておりますので、詳しくは左ページ下記をご覧ください。

富山の野球少年を変えるホットスポット

文・写真 中沖 紘一
text&photo by Nakaoki Koichi



富山の野球を底辺から支える熱きオヤジがいる。富山市のバッティングセンター「ビッグエッグ」の芹田稔社長(58)だ。3年前には室内練習場を増設。野球少年への技術提供のため、連日のように富山GRNサンダーバースや富大野球部の選手、それにプロのトレーナーを施設に招く。中でも、スポーツ科学の理論に基づくトレーニングは、もはや今の時代に欠かすことはできない。全国レベルを目指すには重要な役割を果たす。

「野球の勝ち負けだけでなく伸びていくのではなく、プロの人から強い体づくりを学び、将来につなげてもらいたい」と芹田社長は話す。

兵庫県を拠点にトレーナー派遣などを行う「Probody」が毎月2回行っている「メディカルクリニック」。年齢、また身体のくせに合わせてさまざまなトレーニングや矯正を受けることができる。マンツーマンのレッスンが人気を集め、主に小・中学生の球児で予約はいっぱい。指導を受ける子どもの横にはビデオカメラを回したり、メモを取ったりする父親やスポーツチームの監督の姿が。一語一句を聞き漏らすまいと必死だ。

「Probody」の青山武士代表(36)は、小学生の時に正しい運動学習を記憶することの大切さを強調する。「一番身につくのがこの時期。だから今一番覚えてほしい。身体の機能に沿った無駄のない動きを身につけて、将来への歩みにしてもらいたい」。

トレーニングの傍らで芹田社長は、愛犬のメイを抱いて目を細め、球児の成長を見守っている。

・ビッグエッグホームページ
<http://www.geocities.jp/bigeggyakyu/>
・ProBodyホームページ
<http://www.probody.jp>

ビッグエッグ Probody

いよいよ42・195キロのフルマラソンが県内で開催される。高岡市役所前をスタートし、山町筋を駆け抜け、新湊大橋で浜風を受け、立山の大パノラマを視界に収めながらいつしかライトレールを追いかけると、富山運河環水公園のゴールが見えてくる。

北陸新幹線の開業を機に開催される県民参加型の「富山マラソン2015」は、まさに私たち県民自らが、富山の魅力を再発見しに出掛ける冒険そのもの。普段と違った視線で街の景観や自然の風景を楽しみながら、故郷の地を踏みしめよう。

3月に開催された「第25回神通川マラソン」は、「富山マラソン2015」のプレ大会として今回位置付けられ、すでに大勢の参加者で盛り上がりを見せている。

「富山マラソン2015」のエントリーは4月から始まった。公式ホームページで今すぐチェックしよう！
・富山マラソン2015公式ホームページ
<http://www.toyamanarathon.com>

富山マラソン2015 「地元富山の魅力を再発見する冒険へいざ！」

富山マラソン

北陸の雄「ToroBravo 富山」堂々たる新たな一歩

フットサル



「フットサル」というスポーツをご存知だろうか。サッカーの少人数版といえば察しがつくだろうか。フィールドプレイヤーが5人。うちキーパーが1人。入れ替わり立ち替わり味方を追い抜いてゴールに向かっていく。共通認識と強靱なフィジカルを要する競技である。富山には高岡を本拠地とする「Toro Bravo 富山」というチームがある。2006年に創設され、現在、北信越リーグで戦っている。「Toro Bravo (トロ・ブラボ)」は、スペイン語で「闘牛」という意味。激しいプレスを仕掛け、堅守速攻で相手をなぎ倒すのが身上だ。

そんなチームが今年、プロアマ関係なく真の日本のチームを決める「PUMAカップ」に県勢で初めて出場を果たしたのだ。フットサルの全国リーグ「Fリーグ」の強豪もひしめくステージで3試合を戦うも、結果は全敗。目標の1勝までは遠かったものの、プロと肩を並べ、北信越の代表として戦った「闘牛」たち。富山のフットサルの未来に確かな一歩を記した。

J1仙台へ西村



西村(富山第一高) J1仙台へ背番号30は期待の表れ

富山第一高で全国高校サッカー選手権の初優勝に貢献したF.W西村拓真選手がJ1の仙台に加入し、背番号が「30」に決まった。これは同高の先輩・柳沢敦さんが仙台移籍1年目に、中心選手の梁勇基選手が新人の時につけたナンバーであり、彼への期待の大きさが表れている。同高サッカー部の父母らが1月12日に開いた激励会では地元でひと足早くユニフォーム姿を披露し、古矢武士強化部長とがっちり握手した。

県内関係ではこのほか、MF中田大貴選手(新潟医療福祉大・富山第一高出)とMF馬渡隼暉選手(カタレ富山U18)が地元のカターレに加入。MF佐々木陽次選手(東京学芸大・富山北FC)はJ2徳島にわりプロとしてスタートを切った。

プロ野球公式戦 広島vs阪神 6月24日午後6時 富山市民球場

黒田博樹の復帰や菊池涼介の華麗な守備で今季さらなる注目を集める広島東洋カープと、昨年セ・リーグを制した阪神タイガースの一戦。4年ぶりの開催となる富山恒例の同カードは、激戦必至だ。6月24日(水)富山市民球場で午後6時試合開始。チケット好評発売中

県内のスポーツ情報をお待ちしております

高校スポーツも本番間近!

全国高校総体(インターハイ)につながる高校スポーツの県予選が6月から県内各地で始まる。この日のために鍛錬を重ねてきた、高校生の熱い戦いに注目だ！
2015年度富山県高等学校総合体育大会 中心会期 6月6日(土)～8日(月)までの詳しい期日・会場は富山県高体連のホームページでチェックしよう！
・富山県高体連ホームページ
<http://www.tym.ed.jp/c47/>

「Truth」夏号掲載ニュースの締め切りは2015年6月20日
.....
【原稿内容】
イベントPR、代表入り、記録更新など身近なニュースをお寄せ下さい。
※字数は以下の3パターンのいずれかをお願いします。
①1000字
②2000字
③3000字
【写真データ】
顔写真や会場の画像など、1枚まで掲載可能です。
原稿・写真(画像は下記メールアドレスまで、よろしくお願ひします。なお、体裁に合せたリライトは編集部でさせていただきます、ガラチェックはありません。
また、編集上の都合で次号への掲載先送りや、速報性などを考慮してフェイスブックページへの掲載とさせていただきます。ご了承ください。よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。
・Tスポとやまメール
tspo.toyama@gmail.com

社会人ラグビーの名門・新日鉄釜石OBの石山次郎さんが現在、縁あって富山県内に赴任しており、2019年ワールドカップ(W杯)の開催都市の一つに決まった釜石市の復興支援への協力を呼び掛けている。石山さんは日本選手権7連覇を成し遂げたメンバーの一人で、現在はNPO法人スクラム釜石代表。同法人はチャリティイベントなどを実施し、「Tシャツ、ネクタイ、復刻した」はまゆりジャージ」でぬい、DVDなどの応援グッズを販売している。
・スクラム釜石ホームページ
<http://scrumkamaishi.jp/>



「ラグビーによる釜石復興に協力を」

スクラム釜石

富山発のスポーツメディア
Truth
Find us on Facebook
Tスポとやま Truth
<https://www.facebook.com/tspo.truth>
Tスポとやま

NPO法人Tスポとやま 賛助会員募集

NPO法人「Tスポとやま」(2015年4月認証)は、スポーツの力で富山を元気にしたいとの夢を実現すべく、県内のスポーツとそれに関わるみなさんを応援する活動をスタートしました。

2015年春に富山初のスポーツマガジン「Truth(トゥルース:真実の意)」を創刊、夏・秋・冬と年4回の発行を予定しています。2020年東京五輪・パラリンピックに向けたアスリートたちの挑戦を広く県民の皆様にお伝えし、その情熱を支えていきます。

Tスポとやまの活動に賛同し、支援してくださる方を募集しています。よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

Tスポとやま代表 松井 克仁

【賛助会員】

企業・団体：[年会費] ¥10,000(税込) / 1口

個人：[年会費] ¥3,000(税込) / 1口

※賛助会員には「Truth」(年4回発行)を送付いたします。また、同誌に御芳名を掲載します。会員期限は入会日から2016年3月末までとします。

【入会方法】

申込書を記入いただき、年会費を銀行振込などでご入金ください。

◇振込先 富山銀行本店 普通3012357 Tスポとやま

※振込の場合は申込書を下記までFAXまたはメールでお送りください。

◇FAX番号 0766-55-0009 ◇E-mail:tspo.toyama@gmail.com ◇問合わせ先 080-3461-5959(Tスポとやま事務局)

《Tスポとやま 賛助会員 申込書》

ご芳名(または企業団体名)	ふりがな		
ご住所(「Truth」のお届け先をご記入ください)	〒		
電話番号	()		
メールアドレス	@		
「Truth」巻末の社名・氏名掲載希望の有無	掲載を希望する (右欄に掲載名をご記入ください)	掲載名	希望しない
	(法人・個人)いずれかに丸をお付けください		金額
口数・金額	口	円	
お支払方法(いずれかに丸をお付け下さい)	現金 ・ 銀行振込		

※申込書をFAXなどで送付ください

<個人情報の取り扱いについて>皆様からお預かりした個人情報については「Tスポとやま」の活動関係事務のみに使用し、それ以外の目的に使用したり、第三者に開示したりすることはございません。

『Truth』に創刊あたり

「オリンピック・レガシー」。ここでいうレガシーには、「オリンピック招致・開催により築いた有形無形のレガシー(遺産)をいかに次世代に継承するか」というニュアンスがあり、近年IOC国際オリンピック委員会がもっとも力を入れているテーマのひとつです。

富山においても「2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に次世代に継承できるスポーツの宝を残したい」、そんな思いを込め富山でスポーツを愛する有志に声をかけて立ち上げたのが、「NPO法人Tスポとやま」です。富山では、かつて2000年に国体が開かれ、立派な施設や優秀な指導者といった遺産が今日のスポーツ振興を支えてくれています。私たちは、そんな環境が育てたアスリートに光をあて、2020年につなげる役割を果たしたいと考えています。

そこで、まず取り組んだのが富山初のスポーツ雑誌『Truth』の創刊です。既存のメディアでは、伝えきれていないスポーツシーンの裏側に隠された「真実」を伝えることで、スポーツへの関心を高め、2020年への機運を盛り上げていきます。TOYAMAからTOKYOへ、私たちは、新たなスポーツ文化の創造を目指します。応援をよろしくお願いいたします。

Tスポとやま代表
松井 克仁

Tスポとやま 賛助会員の皆様(2015年4月16日現在)

【法人会員】

津根精機株式会社、東亜電工株式会社、ホテルよし原、澤川鍛造工業株式会社、株式会社澤田製作所、株式会社岩沢製作所、株式会社富山技販、株式会社 KANAYA、富山機械工業センター、山崎機工株式会社、旭産業株式会社、日伸精機株式会社、株式会社石金精機、株式会社内山精工、エヌアイシ・オートテック株式会社、岡崎機工株式会社、株式会社伸栄商会、大日工機株式会社、藤堂工業株式会社、株式会社ユニゾーン、田中精密工業、高岡ケーブルネットワーク、株式会社ウィーズ

(順不同)

【個人会員】

田中英一郎、田中光子、田中龍郎、田中一郎、松井勝馬、渋谷春男(北京飯店)、牧内直哉

(敬称略、順不同)

NPO法人Tスポとやまは賛助会員と、配布にご協力いただける企業やお店等を募集しています。

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営

〒932-0817 小矢部市小神204-3 代表:松井克仁

TEL:080-3461-5959 E-mail:tspo.toyama@gmail.com

Facebook:https://www.facebook.com/tspo.truth

顧問:田中一郎

STAFF:赤壁逸朗/金森正晃/小林永/坂野上満/谷尚人/土田由香里/中沖紘一/永森茂/松井克仁/若林朋子

DESIGN:TIME PLANNING JAPAN 株式会社